SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

地震観測報告及び静岡付近の地震について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2011-08-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鮫島, 輝彦 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00005933

地震観測報告及び静岡附近の地震について

鮫島輝彦

静岡測候所より拝借した簡単微動計による観測を昨年10月1日より開始した。この簡単微動は水平二方向のみの記象を得る水平振子型，重錘質量10kg振動週期約4秒，倍率は約40倍で使用している，制振器なしの型で近地地震の記象用である。

1953年10月1日より1954年6月20日までの260日間に丁度200回の地震記象が得られた。これは昨年11月の房総沖地震の余震約130を含んでいるのでこれを除けば70程の記象が得られたことになり約3日に1回の割である。有感地震は12回で内震度Ⅱ3回であつた。

遠地地震では本年2月11日に中国寧夏省の地震が記録されたが，このような遠い地震には勿論本地震計は験震器としての役にしか立たない。その他北海道の地震が数回記録された。

近地地震の記象ではP～S10秒以内のもの6個が得られた。

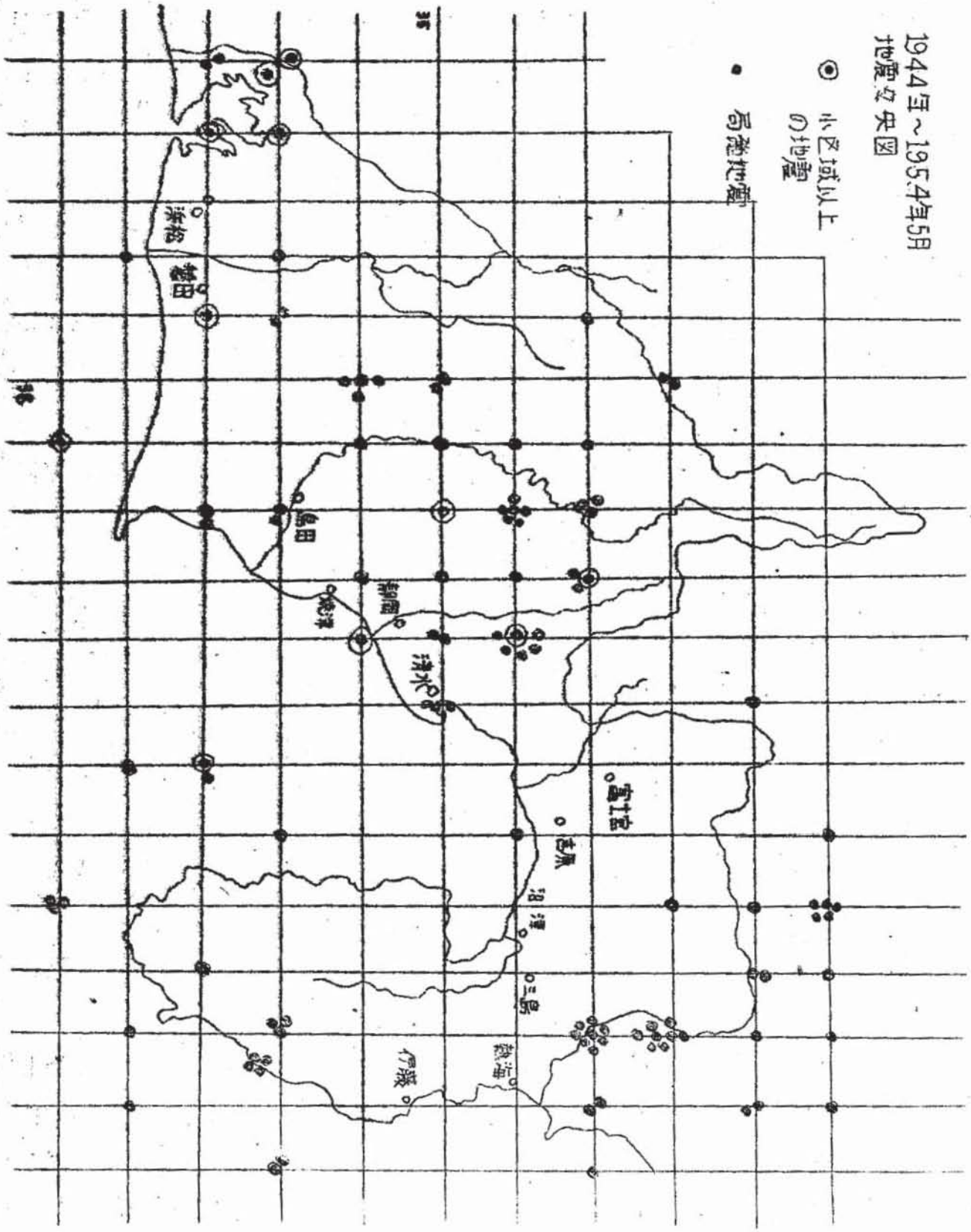
発震時	震度	P～S	振幅EW	振幅NS	初動 E	初動 S	震央 N	震央 E	備考
53Y10M21D10h04m	Ⅰ	4.3 sec.	554μ	1000μ	-1.8μ	+3.8μ	34.9	138.3	(地月による) 高草山附近
53Y12M18D11h24m	Ⅰ	4.0 sec.	85μ	238μ	-3.8μ	+2.5μ	不明		
54Y 4M15D08h39m	0	10.0 sec.	18μ	30μ	?	?	35.4	138.9	山中湖・能津 震Ⅱ
54Y 4M15D21h28m	Ⅰ	3.0 sec.	68μ	88μ	+1.3μ	+1.5μ	清水市北西？		
54Y 4M16D19h25m	Ⅰ	3.0 sec.	200μ	140μ	?	?	31.5	138.4	清水北西
54Y 5M 6D10h41m	0	10.0 sec.	27μ	33μ	?	?	船津附近		

以上の他P～S読取の出来ぬ極近地な微少地震の記象4個があつた。

静岡市附近で起つた過去10年間の地震の内震央の求められてあるものを図示する。これらは何れも40km以内の浅発地震である。顕著地震は1947年に安倍川口附近で起つたものが唯一つで，稍顕著地震は3回で三ヶ日町附近，玉川村地内，大田川下流にそれぞれ震央を有する。小区域

地震は7回である。

この震央分布図を見ると丹沢・箱根山地及清水以西に震源分布が密でこの中間 即ち駿河湾より富士川に沿北上する帯には殆ど分布しないことが著しい。清水より北西に延びる線を界に、その西側は震源分布が密



であるのは何か単純な意味を含んでいるように考えられる。

箱根山に起つた群発地震を別にすると静岡市北方より西北方にわたる安倍川及び大井川中流が地震の多発地域である。138.4°E 35.1°N附近及び138.2°E 35.1°N附近では共に6回宛起つている。（震央は緯度経度共1/10度までの精度で求められている。）

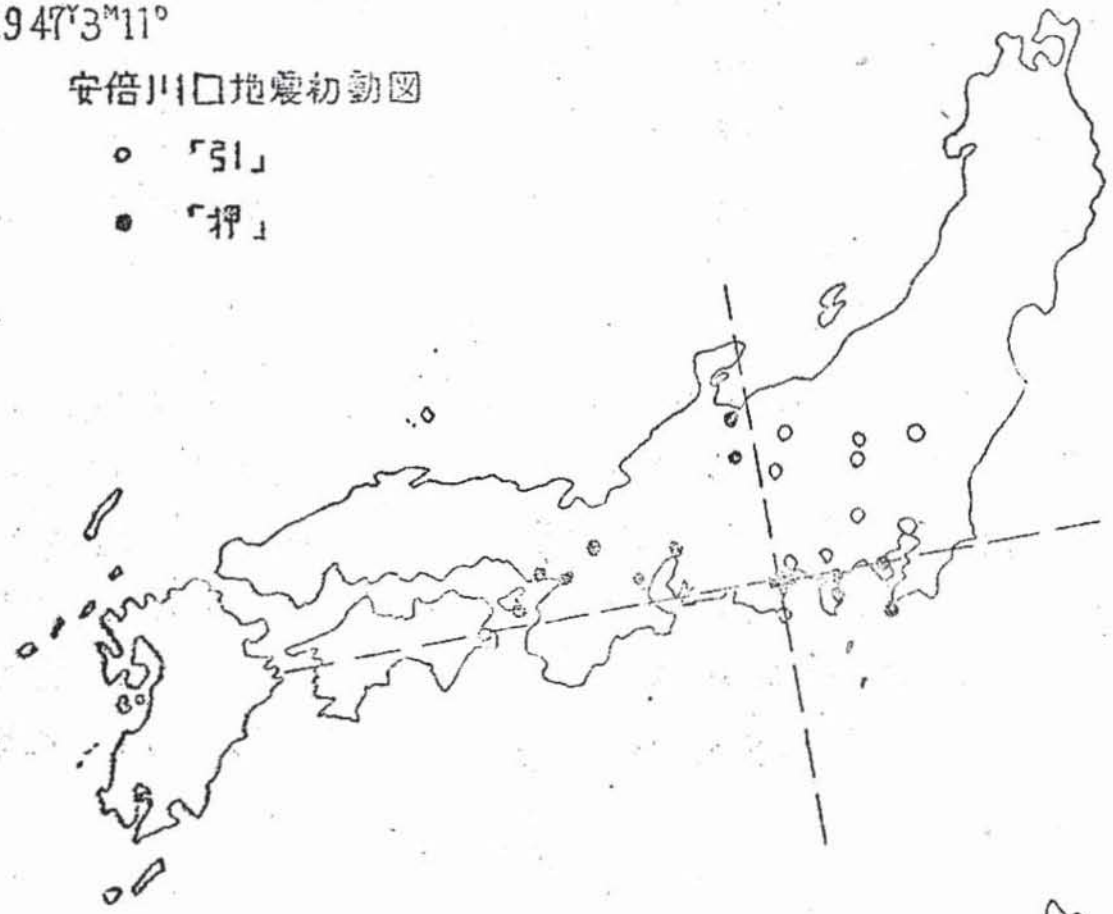
1947年3月11日14時16分頃の安倍川口附近に起つた顕著地震（138.4°E 34.9°N静岡市の震度Ⅳ）は1935年7月11日17時25分頃に草薙で起つた静岡強震（138.5°E 35.0°N最大震度Ⅴ）と共に静岡市周辺で起つた比較的大規模な地震である。この両地震の初動のデータはかなり広範囲に得られているので初動分布図を作つてみるとこのニつの地震の節線方向は殆んど同一であつて発震機構が近似した方向性に支配されていると考えられる。

1947Y3M11°

安倍川口地震初動図

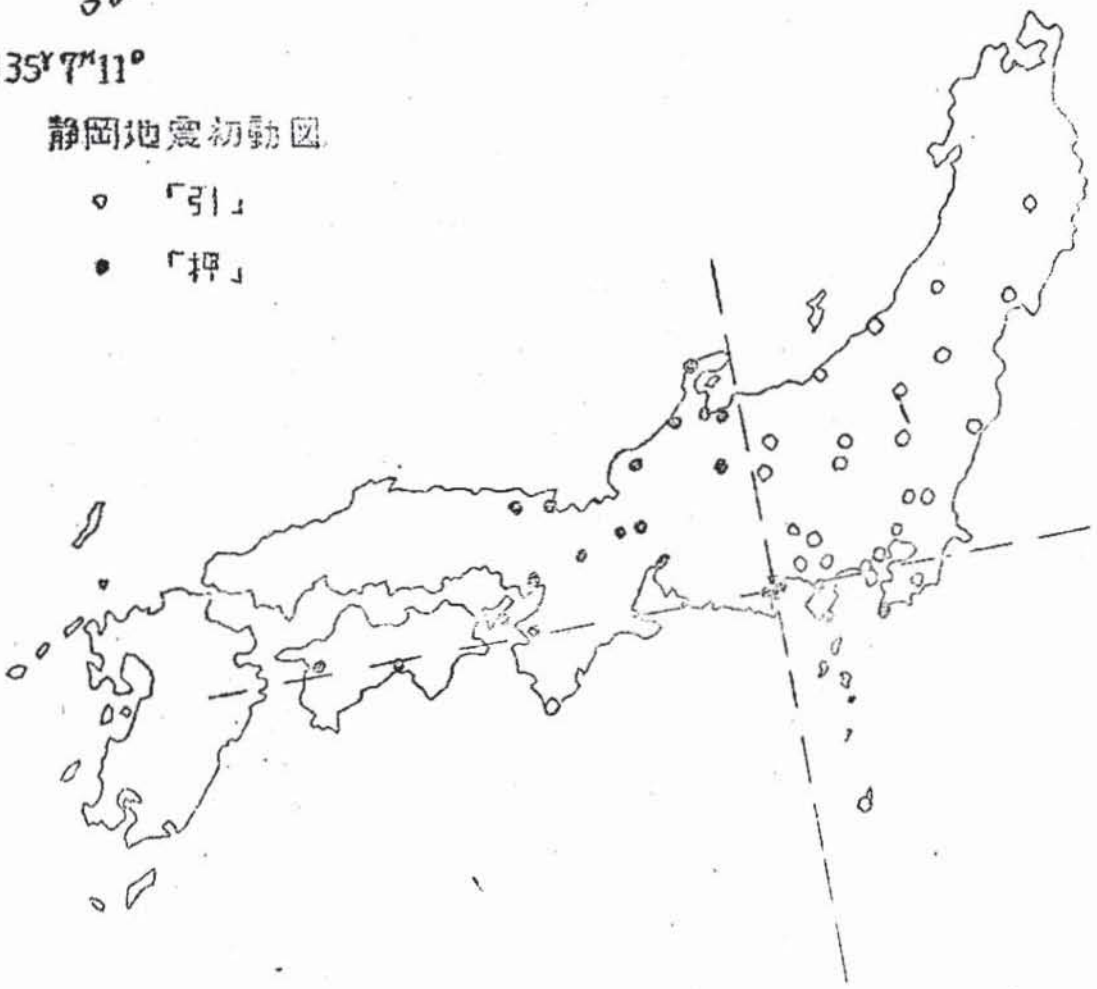
○ 「引」

● 「押」



1935Y7M11°

静岡地震初動図

○ 「引」

● 「押」